

第1章 策定趣旨

第1章 策定趣旨

1 「佐世保市水道ビジョン2020」とは

今回、本市が作成する「佐世保市水道ビジョン2020」（以下、「本ビジョン」という。）は、水道法に基づき将来を見据えた長期的な視点をもって、本市水道事業の将来像やあり方を示したものです。そして、その将来像を具現化するための、今後の方向性を明示したものです。

水道は、憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」を支えるうえで不可欠なナショナルミニマムとなっており、水の安定供給は水道事業者の最大の使命とされています。

そのため、水道法において、「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活衛生の改善とに寄与する」ことを目的とし、この「清浄・豊富・低廉」の各項目について具体的に規定されています。

「清浄」については、水質は市民の皆様の健康や公衆衛生に直結する問題であることから、水質保持はもっとも基本的な責務であり、必ず達成しなければならない項目として「水質基準」が定められています。「豊富」については、水道が市民生活や社会活動に欠くことが出来ない基礎的社会基盤であることから、渇水等の非常時においても、常時、安定して供給することが義務付けられています。「低廉」については、これらの安全・安心にかかる規定を確保したうえで、可能な限り料金負担を抑制して供給できるよう能率的な経営に努め、適正な原価に照らした公正な料金とすることが求められています。

「安全（清浄）、安心（豊富）」の水準を高めるほど、施設整備や維持管理等にかかる経費が必要となることから、水道事業者は水道供給サービスの水準を保ちながら、「清浄・豊富・低廉」の均衡を図っていかなければなりません。

本ビジョンは本市がこのような水道法の目的を達成するうえでの具体的指針を示すものです。

また、水道は、市民生活、企業経済活動、福祉、教育、防災等のあらゆる都市活動で使用され、市政推進を下支えする役割を担っていることから、本ビジョンは、本市のまちづくりの基本指針である「第7次佐世保市総合計画」の分野別計画の一つとして位置づけられており、市政推進における水道事業の方向性を示す役割も担っています。

第1章 策定趣旨

1 「佐世保市水道ビジョン2020」とは

「第7次佐世保市総合計画」では、少子高齢化や人口減少社会の急速な進行など大きく変化する社会情勢の中において、将来のまちづくりを見通しつつ、時代の変化や課題に的確に対応していくための「まちづくりの設計図」としての将来像が示されています。本ビジョンでは、そのまちづくりの将来像を具現化するための、本市水道事業における基本理念や基本方針、また、それに基づく取組内容や方策について示しています。

また、厚生労働省の「新水道ビジョン（2013年（平成25年）策定）」との整合をとり全国的な課題を見据えながら、現行の「佐世保市上下水道ビジョン（2008年（平成20年）策定）」（以下、「旧ビジョン」という。）における課題も踏まえ、本市における水道事業のマスタープランとして今後の施設整備や収益確保、水道局における体制整備など、今後も継続的に検討を必要とするものも含めて、より実効性のある水道ビジョンを作成しました。

第1章 策定趣旨

2 本ビジョンの位置付け

厚生労働省は、2004年（平成16年）に水道事業における重点的な政策課題とその課題に対処するための具体的な施策や将来像を明示した「水道ビジョン」を公表するとともに、各水道事業者に対しても、自らの事業の現状や今後目指すべき将来像、そしてその実現方策などを示す「地域水道ビジョン」の策定を推奨してきました。

これを受けて、本市においても「佐世保市水道ビジョン」を2008年（平成20年）に策定し、水道事業における現状や課題を踏まえて効率的な事業運営に努めてきました。

その後、日本は人口減少社会に入り総人口は減少傾向に転じるとともに、異常気象に伴う災害や大規模な地震災害の発生等により、人々の日常生活にとって重要なインフラである水の安定供給に大きな支障が生じるなど、水道を取り巻く環境は大きく変化してきました。そこで厚生労働省は、2013年（平成25年）に、大きく変化した水道の事業環境に的確に対応して確実な事業運営を行うため、安全・強靱・持続の3つの観点に基づき「新水道ビジョン」を策定しました。

本市においても、今後、人口減少に伴う給水収益の減少が見込まれる中で、施設の老朽化に伴う更新需要の増大や慢性的な水源不足など、厳しい事業環境に直面しています。

このような水道事業を取り巻く環境の変化や本市の水道事業における課題に的確に対応するため、厚生労働省が「新水道ビジョン」で示している方向性を踏まえて、且つ長期的な視点に立った戦略的な水道事業の計画として本ビジョンを策定し、ヒト（職員）・モノ（資産）・カネ（財源）が連動した事業推進に取り組みます。

佐世保市水道ビジョン2020の位置付け

